

## 総合的な学習の時間指導案

指導者 熊野 尚子

- 1 日時 平成24年5月29日(火) 第5校時
- 2 学年 第4学年 11名
- 3 単元名 甲田町の産業を知ろう ～ぼくら小原なしPR隊～
- 4 単元について

## ○児童観

本学級の児童は、これまでの4年生が谷上農園で梨作りの体験をして、収穫した梨や梨ジャムを全校のみんなにプレゼントする姿を見ており、梨作りの体験、梨を使ってジャムを作るなどの梨の学習には大変興味をもっていている。これまで花粉つけ、梨の小袋かけの体験を行ってきた。実際に体験することで梨作りのひみつやコツを見つけ、梨や梨づくりについての理解も徐々に深めることができています。また、体験の際には、谷上さんから梨作りへの思いや大変なことなども聞きとりをし、少しずつではあるが谷上さんの思いに応えようとする意識も持ちつつある。学習においては、学習課題に積極的に向き合うことはできるが、考えや気付きを整理したり、お互いの考えをつなげていきながらさらに深めたり、疑問や新たな課題を見つけて探究していくことには個人差がある。

## ○単元観

本単元は、地域の方が一生懸命作っておられる、小原のお宝である梨のことをもっとよく知ろうという課題から学習がスタートした。この課題を自分たちが考えた方法で解決していくことを通して、主体的な学びの力を養うことをねらいとしている。また、梨や梨作りのことに詳しくなったり、甲田の梨を紹介したりするという身近な課題を地域の方や友だちとともに解決していくことで、児童の探究心を育てるとともに自分や他者のよさや、地域の人々の願いや生き方を感じることもできる。さらに、梨作りをされている方に学習したことを返したり、地域の一員として自分ができることを考えたりすることもできると考える。

## ○指導観

指導にあたっては、次のことに留意して取り組む。

1点目は、児童が意欲をもって最後まで探究活動に取り組めるように、「小原の梨や梨作りについて詳しくになりたい」「小原の自慢の梨や梨作りについてたくさんの人に知ってもらいたい」という児童の願いをもとに、目的を明確にして計画を立てさせる。そして、見通しをもって主体的に学習が進められるように、児童用シラバスを作成・活用して、具体的な学習活動や付けたい力を明確にし、児童と共有できるようにする。

2点目は、課題解決のための連続性を持たせることである。体験活動や調べ活動を通して発見した気付きや疑問に思ったことを出し合い、目的にしたがって友だちと整理・分析させることで、考えを見直したり深めたりさせる。そして、探究したことや学んだ過程を振り返らせ、自己評価カードに書くことを通して、次の課題へつなげていくようにする。

3点目は、他教科との関連を図ることである。国語科の「書くこと」の指導事項「関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること」「書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」を単元全体に取り入れる。そして、書くことによって探究を深めるとともに、総合的にはたらく活用力をつけていきたい。

4点目は、体験活動やインタビューを通して、働くことの意義や苦勞、喜びを理解させる。そのことで、地域の人々の仕事や郷土に対する思い、生き方のすばらしさを感じとらせ、地域の一員として、自分に何ができるかを考えさせていきたい。

## 5 単元の目標

地域の産業に関わっておられる方との交流を通して、誇りをもち懸命に産業に携わっておられる地域の方のひたむきで積極的な生き方を学ばせ、次のような資質や能力及び態度を育成することをめざす。

○地域の産業である梨作りの学習の中で課題をもち、聞き取りや資料を探するなど、様々な方法で課題を解決することができる。(課題解決能力)

○活動を通して、自分の頑張りやよさに気づいたり、他の教科や生活に生かしたりする。(自己の生き方)

○地域の人々や友だちと積極的に活動し、地域の方の努力や工夫、友だちのよさに気づいたりすることができる。(人間関係形成能力)

6 単元の評価規準

ア 課題解決能力	イ 自己の生き方	ウ 人間関係形成能力
①梨や梨作りに関わる人に関心を持ち、発見したり疑問をもったりする。 ②梨や梨作りについて計画を立て、必要な情報を様々な方法で集める。 ③集めた情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして整理する。 ④相手意識をもって話したり、資料を提示したりして分かりやすい表現方法を考える。	①活動を通して、自分のよさや自分自身について、話したり書いたりする。 ②自分が学んだことを他教科や生活に生かそうとする。 ③活動を振り返り、自分のがんばりや次の活動につながる反省点について考える。	①積極的に活動し、地域の人々と関わろうとする。 ②自分の考えを伝えたり、他者の意見を受け止めたりして友だちや、地域の人々のよさに気づく。 ③自分の力を精一杯出しきりながら友だちと協力する。

7 指導計画 (全70時間)

次	学習活動	評 価				
		課	自	人	評価規準 評価方法	
梨作りの体験をしよう (12)	○1年間の活動の計画を立て、児童用シラバスを作る。(2) ・甲田の産業について知っていることを話し合おう。 ・梨作りについて知っていることを話し合おう。 <b>課題の設定</b> ○谷上さんに教わって梨作りの体験をする。(8) ・花粉つけ、小袋がけ、大袋がけ ○草取りをする。(2) <b>情報の収集</b>	◎			・梨や梨作りに関わる人に関心を持ち、発見したり疑問を持ったりする。 ア① ・積極的に活動し、地域の人々と関わろうとする。 ウ① ・自分の力を出し切り、友だちと協力する。 ウ③	行動観察 自己評価カード 発表
小原なし PR 活動 その① (19)	○体験を通して、分かったこと、発見したことなどを整理しまとめる。(5) <b>【本時3/5】</b> <b>整理・分析</b> ○もっと詳しく調べたいことをグループごとに話し合う。 ・どのように調べるか話し合おう。 ・他のグループの考えを聞き、自分たちの活動に生かそう。 ○グループごとの課題を自分たちが考えた方法で調べ、まとめる。(12) ・インタビュー <b>情報の収集</b> ・資料集め <b>整理・分析</b> ・修正、つけ加え <b>まとめ・表現</b> ・まとめ ○発表会をする。(2)	◎	◎	○	・自分が追求したい課題を見つけようとする。ア① ・集めた情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして整理する。ア③ ・梨や梨作りについて計画を立て、必要な情報を地域の方と関わりながら様々な方法で集める。ア② ・集めた情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして整理する。ア③ ・自分が学んだことを他教科や生活に生かそうとする。イ② ・自分の考えを伝えたり、他者の意見を受け止めたりして友だち、地域の人々のよさに気付く。ウ②	行動観察 自己評価カード 発表 作品
梨の収穫をしよう (13) ○梨を収穫する。○梨をみんなに配る。○梨ジャムを作る。						

小原なし PR 活動その② (1 3)

○自慢の梨や梨作りを紹介しよう!! ○地域の人へ返していこう

梨の学習をまとめよう (1 3)

○今までの学習したことをまとめよう。○お世話になった方を招いてお礼のパーティをしよう。

8 本時の展開

- (1) 本時の目標 校内のみんなに伝えるために、「小ぶくろかけのひみつやコツ」について調べたことから、新聞に何をのせたらよいか考え、話し合うことができる。
- (2) 評価規準 新聞にのせる内容について、「谷上さんの工夫や思いを伝える」ことを意識した理由をつけて発表したり話し合ったりしている。

【評価指標】①話し合いにおいて

○「谷上さんの工夫や思いを伝える」ことを意識して、自分の体験とかかわらせて理由づけをしている。

②振り返りにおいて

○話し合いをして納得したこと、考えがかわったこと、次につなげたいことを書いている。

- (3) 準備物 自己評価カード、新聞内容をグルーピングしたもの、写真など

(4) 学習の展開

学 習 活 動	支援と指導上の留意点	評価の観点と方法
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用シラバスと自己評価カードによって学習の流れと本時のめあてを児童と確認する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">梨作り PR 新聞に何をのせたらよいか話し合おう。 その②小ぶくろかけ</div>		
2 新聞に何をのせたいか考え、カードに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが調べたことやわかったことを校内のみんなに紹介する目的を再確認する。</li> <li>・前時までにグルーピングした新聞の内容について振り返る。</li> <li>・前時までの交流をもとに、新聞に何をのせたいかを書かせる。 【自己決定】</li> </ul>	
<p>3 新聞に何をのせたいか話し合い、まとめる。</p> <p>○小ぶくろかけをするわけ</p> <p>○谷上さんのスゴわざ・思い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくろかけ1, 2秒</li> <li>・やさしくすばやく選定</li> <li>・2万3千個をふくろかけ</li> <li>・愛情をこめて</li> </ul> <p>○実のまびきの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残す実 ・じくの取り方</li> </ul> <p>○小ぶくろかけのコツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はがれないように</li> <li>○小ぶくろのひみつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを理由をつけて発表させる。</li> <li>・似ているものをグルーピングしたり、キーワードをつけたりして整理する。</li> <li>・「おいしい小原のなしを作っておられる谷上さんの工夫や思い」を伝える、という視点で話し合わせる。</li> <li>・「必ず記事にしたほうがよい内容」とそうでない内容に分類し、内容がより深まるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【自己存在感】 【共感的】</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>理由づけをして、自分の考えや思いをわかりやすく発表させる。</p> <p style="text-align: right;"><b>表</b></p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>新聞にのせる内容についての考えを深めさせる。</p> <p style="text-align: right;"><b>考</b></p> </div>
		<p>新聞にのせる内容について、「谷上さんの工夫や思いを伝える」ことを意識した理由をつけて発表したり話し合ったりしている。</p> <p>(話し合い、自己評価カード)</p>

言語活動の充実

<p>3 本時の学習を振り返り、自己評価カードに記入する。</p> <p>4 次時の活動の見通しを持つ。</p>	<p>・話し合いをもとに、「最終的に新聞に何をのせたいか」「話し合いを通して自分が変わったこと」「次につなげたいこと」を自己評価カードに記入させることで、次時につなげる。</p> <p>【自己決定】 【自己存在感】</p>	
--	---	--

(5) 板書計画

ぼくら小原なしPR 隊

梨作り PR 新聞に何をのせたらよいか話し合おう。その②小ぶくろかけ

小袋かけをするわけ


谷上さんのスコわざ


小ぶくろかけのコツ


**伝えよう！**

谷上さんの工夫  
やコツ、思い

新聞にのせたい内容を  
グルーピングしたもの

(6) 自己評価カード

ぼくら小原なし PR 隊

月 日

名前

「おいしい小原のなしづくり名人」谷上さんの  
工夫や思い

なし作り PR 新聞を作って、校内のみんなにしょうかいしよう！

めあて なし作り PR 新聞に何をのせたらいいか話し合おう。 その②小ぶくろかけ

話し合いを受けて決めた。新聞にのせるないように (前回とかわっていたら○をつけよう)

・

・



友達の意見を聞いて思ったこと

話し合いで考えがこう決まった！ こうかわった！

次につなげたいこと

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---